



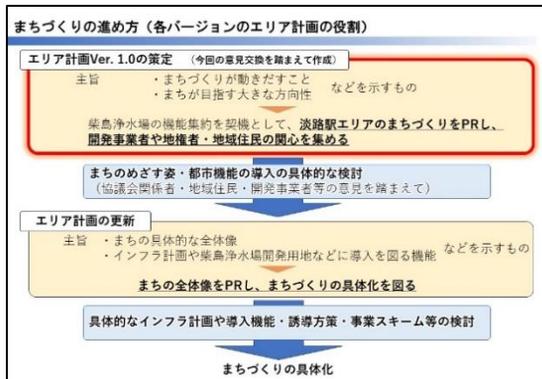
第52回 まちづくり構想部会を開催しました 令和6年11月14日

東淀川区西部地域における大阪市の取組や各地域での活動状況などについて、話し合いました。

淡路駅エリアのまちづくりについて

前回に引き続き、大阪市計画調整局から「淡路駅エリア計画の骨格」について情報提供がありました。

- ◆「淡路駅エリア計画」案に対する地元意見を聴取している。
- ◆『地域の中核拠点』としての淡路駅エリアについて、地域の目線からの意見を求めており、「まちづくり構想部会」の皆さんからも意見を聞きたい。
- ◆「淡路駅エリア計画」には段階があり、今年度内にとりまとめるものは、計画の最終段階ではなくて、第一段階のものになる。



淡路駅エリアのまちづくりについて意見交換

- ◆私たちの「まちづくり構想」のなかに「ふだん暮らしの」というコンセプトがある。地域住民にとっての日常を旅行者や観光客が同じように体験できる仕組みが必要では。
- ◆開発用地への導入機能の検討は、東淀川区内で欠けている施設の検討など、公共施設の再配置を見直す良い機会。
- ◆近畿大学総合社会学部 久教授から、歌島豊里線沿いのまちづくりについて、「例えば、1階に積極的に店舗を誘致するなど、ガイドラインといったやわらかい誘導で人が歩くようなまちにしてい。皆さんのご意見では、高級なブティックではなく、ローカルな居酒屋のような親しみやすいお店が並んでいるようなイメージか。」柴島浄水場の開発では、「開発用地を道路で区切る以外にも、民間事業者に周囲とどのようにつないでいくのかも含めて提案してもらおう方法も考えられる。」といったお話がありました。
- ◆大阪市計画調整局から、「開発用地では、民間事業者等の新しいプレイヤーが、既存の活動をされているところと、うまく連携していく仕組みで、既存のまちにも新たな人の流れを生むといったことが期待される。」との回答がありました。

情報提供 & 意見交換

- ◆区役所から、高架下の活用事例について、説明がありました。
- ◆下新庄地域のワークショップ(下新庄老人憩の家/11月6日開催)についての報告 29名が集まり、下新庄地域の子も達と地域との関わり等について話し合いました。
- ◆東淡路・柴島地域の会議(東淀川区役所出張所/10月11日開催)についての報告 14名が集まり、アクションプラン作成のための地域の意見を集約しました。今後、コンサルタントにたたき台を作成してもらい、ワークショップを開催して若い人たちや色々な人たちの意見を取り入れていきたい。/12月21日に「アワナリエ」を開催予定。
- ◆新庄地域では、12月1日に5年ぶりに「新庄フェスティバル」を開催予定。